

クリスマスを控えた12月17日、洞爺湖ビジターセンターで「石ころクラフト」が開かれ、幻想的な光を放つ石ころランタンづくりに親子連れなど9人が挑戦しました。

ランタンづくりは、身近な石の成り立ちを学びながら、家庭でのクリスマスを楽しんでもらおうと、この時期行っている行事です。

同センターが用意した長流川流域の小石を、すき間が空くように接着し、最後にロウソクを底に設置。

室内の電気を消してロウソクに火をつけると、石のすき間

から柔らかい光がこぼれ、参加者を魅了しました。



幻想的な雰囲気をかもし出す石ころランタン

親子で石のランタンづくり 幻想的な灯火に魅了

おいしい笑顔広がる 親子食育料理教室

食を通じての健康づくりをめざす洞爺湖町食生活改善協議会（三浦敦子会長）が、12月17日「親子食育料理教室」を健康福祉センターさわやかで開催しました。24人の親子らが、料理を作りながら、栄養や「食」の大切さを学びました。



仲良く料理を作る親子

この日のメニューは、おすしのケーキ、ワンタンスープ、にんじんと白桃のヨーグルトゼリーの3品。

参加した子どもらは、同協議会の皆さんので助けを受けながら、お父さん、お母さんといっしょに料理作りを楽しみました。最後に完成した料理をみんなで試食し、おいしい笑顔が広がっていました。

学校給食にあか毛和牛初登場 地場産品への関心高める

12月19日町内の小、中学校の給食に町がブランド化を狙うあか毛和牛を使った牛丼が登場し、児童らは地場産の牛肉を満喫しました。

町が普及しているあか毛和牛を知ってもらおうと、洞爺湖地場産品協同組合が無償提供し、学校給食センターが食育の一環としてメニュー化しました。

洞爺湖温泉小学校の1年生のクラスでは、先生が盛りつけた牛丼を大きな口をあけて、「おいしい」と言いながらほおぼっていました。



笑みがこぼれる給食時間

年の瀬の恒例となっている入江4区自治会と同婦人防火クラブ合同の防火防犯パトロールが、今年も12月1日から毎週木曜日4回実施されました。

最終日となった22日にも、午後7時に入江4区集会所に地域住民ら19名が集合。

佐藤会長から「寒くて大変ですが、けがに気をつけてがんばってください」との激励を受けて出発。

会員らは、2班に分かれ拍子木を叩きながら、寒空に向かって「火の用心」を叫び、地域をくまなく回りました。



厳寒にパトロールする
婦人防火クラブの皆さん

恒例の年の瀬パトロール 厳寒に響く火の用心の声